

春日区 地域協議会だより

No.53

令和8年8月発行

発行：春日区地域協議会



春日区地域協議会事務局

上越市地域政策課 中部まちづくりセンター

所在地：上越市木田 1-1-3（市役所第二庁舎 2 階）

電 話：025-526-1690 / FAX：025-520-5852

E-mail：chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

「地域協議会だより」は、協議会委員の活動状況をお知らせするため、年 2、3 回発行しています。



地域協議会の活動状況



「たより」のバックナンバー

自主的な審議

審議テーマの取組案別に分科会を設置しました

報 告 事 項

地域自治の推進に向けた今後の方策案について（地域政策課）

自主的な審議

審議テーマの取組案別に分科会を設置しました

○自主的な審議とは？

委員が自らテーマを決めて、地域の活性化や課題の解決に向けて話し合うことです。

春日区では、現在は直面していないものの、将来の課題となり得る次のテーマについて、
取組の方向性を整理し、3つの分科会で協議を進めています。

テーマ① 子どもたちが愛着を持てる春日 ～春日愛の継承～

地域自治区別の人口を比較すると、春日区では、現在は子どもの人数は多いものの、将来の少子化の進行を見据え、子どもたちが春日地域に愛着を持ち、長くかわることができるよう取り組む。

分科会A

○解 決 策：春日地域に関する学びや謙信公の顕彰を、地域の大人から子どもへ
伝承する。

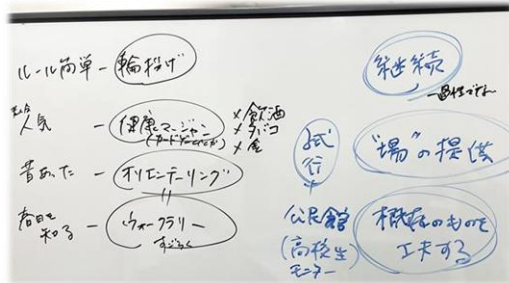
○取 組 案：すごろく、謙信公検定(受検までの学習含む)

○協議概要：子どもが参加しやすく、地域を学ぶことの過程に重きを置く取組となるよう協議しています。



テーマ② 誰もが誰かとつながっている春日 ～春日流儀～

現在、人口の多い春日区でも、将来の高齢化や組織の役員の確保、空き家管理の心配など様々な懸念がある中、それらを解消するための助け合いのコミュニティを維持すべく、人と人がいつまでもつながっていられるよう、取り組む。



分科会B

- 解決策①：簡単なゲームを通じた世代間交流
- 取組案：すぐろくでのウォークラリー ほか
- 協議概要：誰もがルールを理解できるゲームを用いて、世代間交流ができる“場”の提供につなげるよう工夫していきます。

分科会C

- 解決策②：共通の趣味などを持った人がつながるための交流
- 取組案：春日地域文化祭
- 協議概要：互いの顔が見え、交流につながる春日地域全体の文化祭を開催すべく、小さな規模から少しずつ拡大しながら始めていくことが実現までのポイントと捉えて進めています。



報告事項 地域自治の推進に向けた今後の方策案について（地域政策課）

市では、地域を将来にわたり維持していくため、将来に希望の持てる持続可能な地域づくりに向けて検討を進めてきました。

5月28日の第2回地域協議会では、これまでの取組を通して見えてきた課題を整理した上で、右記の検討項目について、現時点での市の考え方が担当課から説明され、意見交換を行いました。主な質疑は次のとおりです。

○補助事業の選定には、地域協議会が設定する「地域ビジョン」を基準にすることだが、事業は「地域ビジョン」と整合する内容でないと対象とならないか。

→令和9年度は、前期委員が策定した「地域活性化の方向性」を活用することで、事業がほぼ絞られることはない想定。令和10年度からは、地域協議会が優先したい事項を「地域ビジョン」として整理し、団体が確認しながら補助制度を活用することを考えている。

○委員の選任方法は公募公選とのことだが、担い手不足の改善策はあるか。

→担い手不足は深刻な課題である。公募公選を基本としつつ、地域の実情を踏まえて意見があれば検討する。また、参画を促す努力も継続して行う。具体的な改善策は今後委員や地域からの意見を集めながら検討していく。

今後、市議会との意見交換や有識者からの意見聴取等を行いながら、方策が決定される予定です。

目的

地域を将来に渡り、維持していくための持続可能な地域づくり

▶地域自治推進の取組における主な検討項目

- ・地域活動への支援
- ・地域運営組織への支援
- ・地域協議会
- ・地域自治区の区域